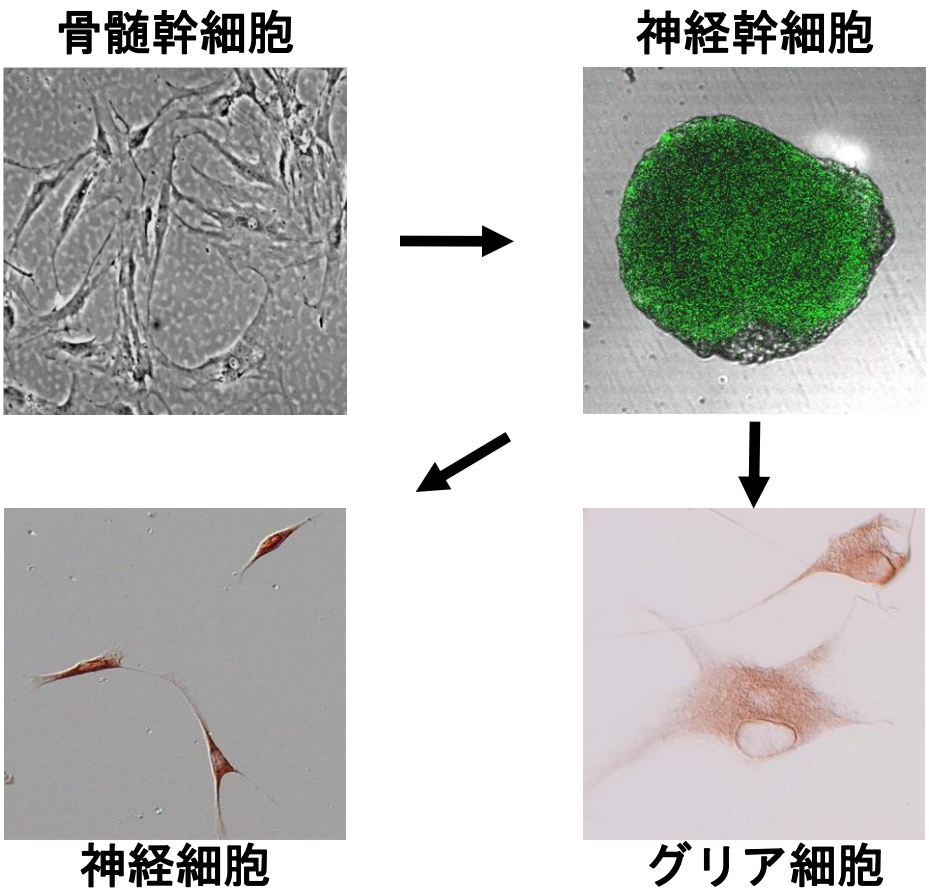
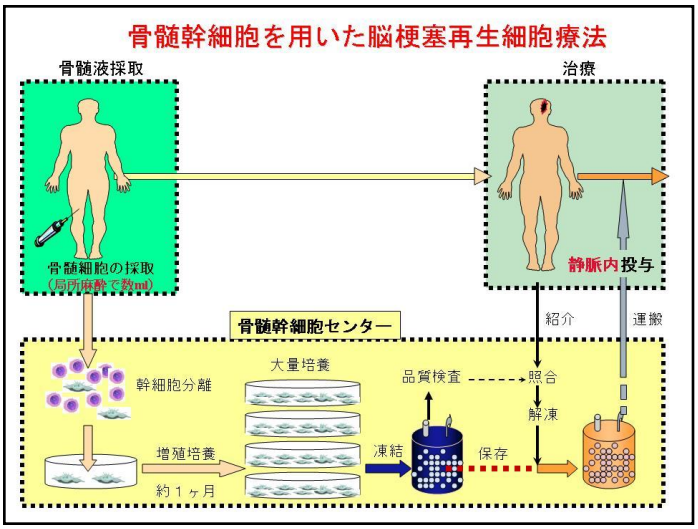
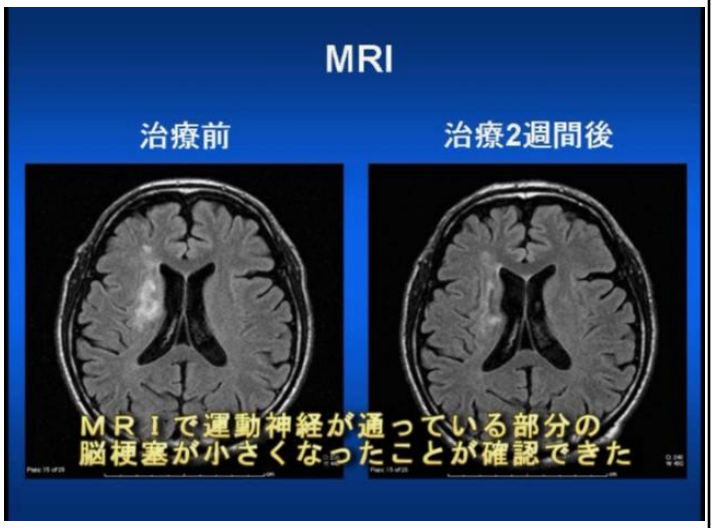
骨髄幹細胞を用いた神経疾患の治療技術の開発

（神経再生医学講座　特任教授　本望　修）

骨髄細胞群の中から神経再生治療に有用な幹細胞を同定し、この幹細胞が、脳梗塞を含む種々の難知性神経疾患において極めて有効であることを報告してきた。この幹細胞は、脳に直接投与する必要はなく、静脈投与することによって、脳の患部に到達させることができるため、患者の負担が少ない。既に脳梗塞を対象とする臨床研究で安全性および治療効果の評価を行っているが、今後は適応疾患の拡大を目指す。







連絡先：　本望　修　（E-mail: honmou@sapmed.ac.jp）